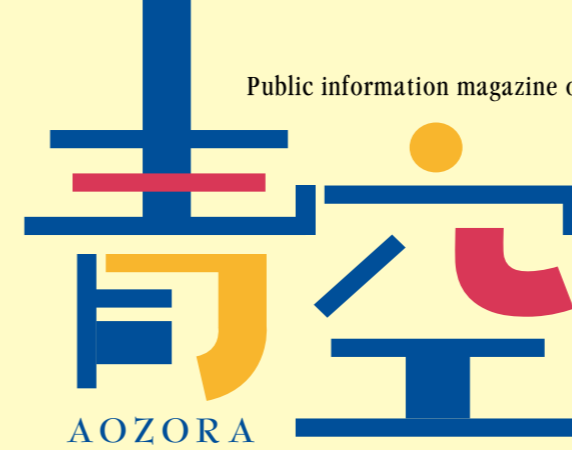
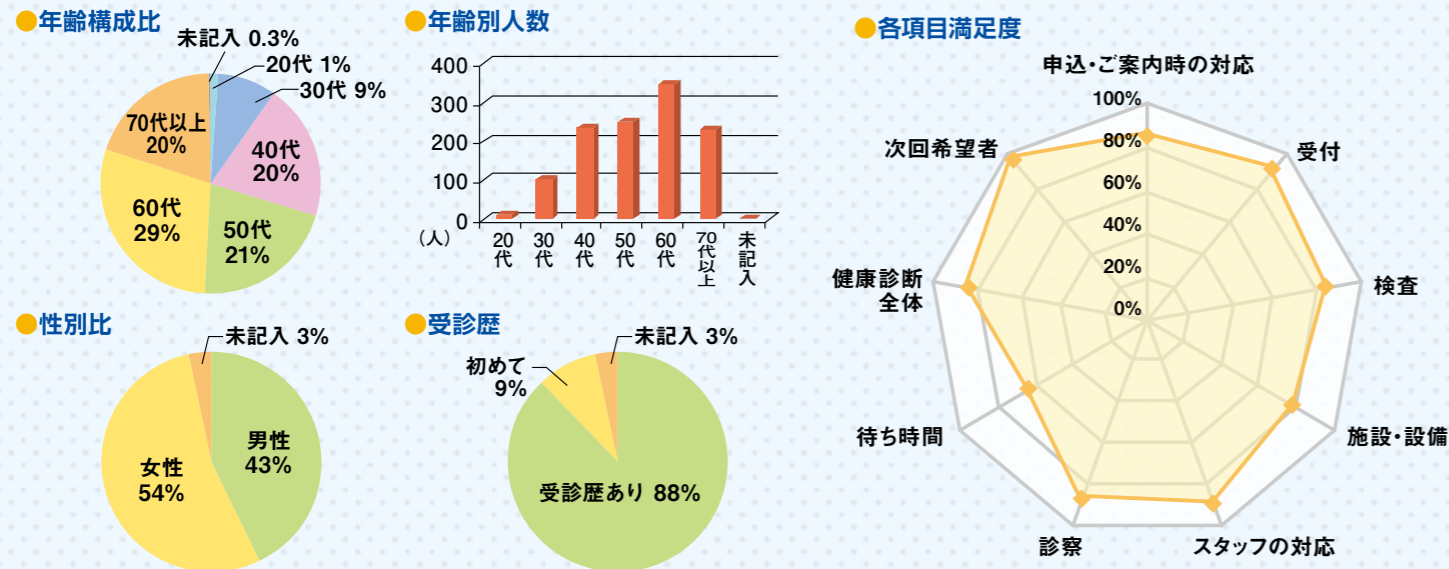


## JA吉田健康管理センター 健康診断受診者アンケート集計

健診を受診された方を対象に満足度調査を実施しております。今回も多数の受診者様にご協力頂きありがとうございました。今後も業務の改善とサービス向上に努めて参ります。お気づきの点がございましたらお気軽にスタッフへお申し出ください。

アンケート配布期間  
平成27年11月～平成28年10月 [回収] 1183枚



やさしい心で  
良質な医療を

## JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院  
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666  
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007  
2017年(平成29年)3月発行  
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開設しました



## 栄養科の紹介

栄養科 科長補佐  
白川 紗月



現在栄養科は、医師1名、管理栄養士4名(吉田総合病院3名、老人保健施設のぞみ1名)が所属しております。管理栄養士の業務は大きく分けて3つ、それぞれご紹介させていただきます。

のような栄養管理を行っていくか、主治医の指示のもと、計画を立てます。その際は、対象者様の病態、年齢、栄養状態、食物アレルギーの有無、それまでの食歴などを考慮し、お一人お一人に適ったものとしております。

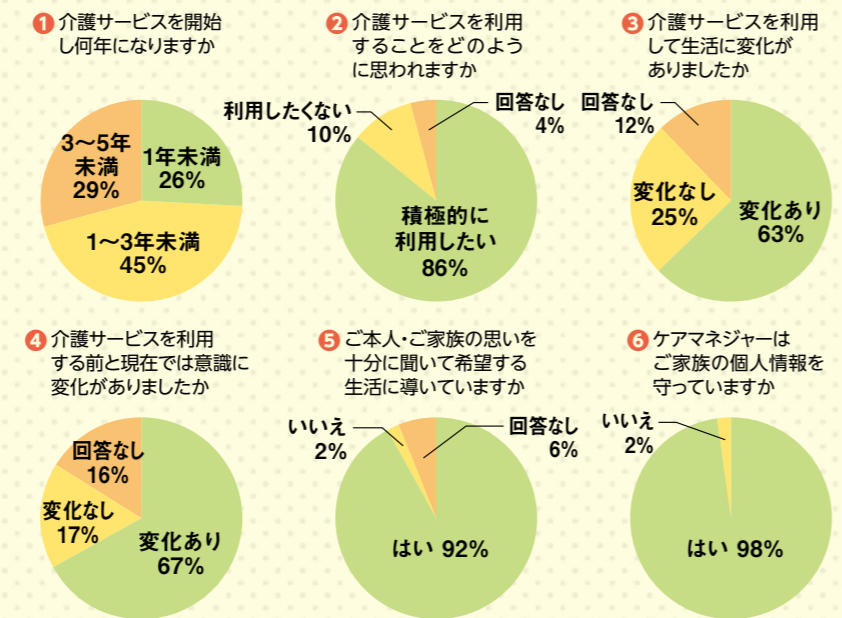
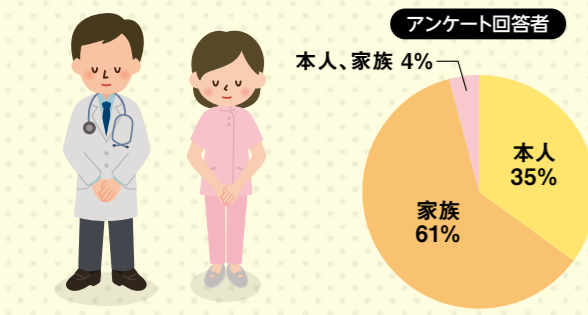
職種と協働し開催しております糖尿病教室では、管理栄養士の栄養指導のみならず、糖尿病について、検査値の読み方、お薬、運動、フットケアなど、糖尿病治療の全般的な内容となっております。また他に透析室のスタッフと協働し、外来透析患者様への調理教室にも携わっております。



## 平成28年度 居宅介護支援事業所 利用者満足度調査

本年度も満足度調査にご協力頂き、ありがとうございました。結果をまとめましたので報告させていただきます。

アンケート配布期間:平成28年9月～10月31日  
[配付] 96件 [回収] 51件 (回収率:53%)



今年度の調査は、介護サービスを利用している方が、自分の持っている能力を最大限に活かし自分らしく生活していただきたい、その生活に関わるケアマネジャーがこれらのことに寄り添うことができているかを調査し、今後の関わりに役立てていきたいと考えアンケート内容を検討いたしました。

②の問いにはサービスを積極的に利用したいという意見がある一方で、「周囲や親族の目が気になる」「お金がかかる」「本人がサービスを希望しない」といったサービス利用に関して抵抗を感じているご意見もいただきました。

③④の問いの具体的なご意見として「身体機能が向上した」「生活リズムができた」「介護する家族の気持ちが楽になった」という変化

を感じるご意見をいただいております。⑤の問いでは、ケアマネジャーに対し、「何があってもすぐに相談することができ、安心感が強くあります」「積極的に話を聞いてくださるので相談しやすい。希望が叶えられるように努力してもらっています」「介護者の話をしっかり聞き助言をくれるので負担が軽くなる」といった「支える側の支援」に少しでもお力になれていることを大変うれしく感じています。

今後もご本人・ご家族の希望する生活に添えるよう努力し、安心してご心配事を話せる空間を作っていくように精進して参ります。また制度を理解し、よりご理解いただける情報提供ができるよう技術を学んで参ります。

\*「連携機関ご紹介コーナー」は紙面の都合により今回はお休みいたします。

### ①お食事の提供

栄養科では、管理栄養士と給食委託会社職員33名で力を合わせ、患者様・入所者様のお食事を1日合計約900食提供いたしております。減塩食、糖尿病食など、患者様の病態に合わせた特別治療食はもとより、加齢や後遺症などで嚥んだり飲み込むことが難しい患者様に合わせた嚥下食の提供にも努めさせていただいております。



### ③栄養・食事指導

治療・進展予防に食事(療法)が重要な役割を担う疾患は多く、外来・入院の患者様に栄養指導を主治医の指示のもと行っております。

当院の個別指導では、腎臓病(透析療法含む)、糖尿病、脂質異常症、消化器切除後の内容が多い傾向にあり、患者様のお食事に対する不安・疑問を少しでも解消すべくお話しさせていただいております。また今年度より、ガン、摂食・嚥下機能低下、低栄養の患者様に対する栄養指導についても診療報酬制度において拡充され、私ども管理栄養士が患者様にご助言できる機会が増えています。

次に集団への指導について、多

### ②栄養管理計画・栄養ケアプラン

入院患者様や入所者様に対し、ど

- 基本理念
1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
  2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
  3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

- 基本方針
1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
  2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
  3. 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
  4. 努力と強調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
  5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規を遵守します。

## 平成28年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

# 第2回 多職種合同スキルアップ研修会

テーマ 今日から考える薬の引き算 ポリファーマシー対策 ～多職種連携が解決のカギ～

平成29年1月17日(火)JA吉田総合病院大会議室において、講師にファーマシー吉田中央薬局薬剤師 佐藤賢治氏をお迎えして、「今日から考える薬の引き算 ポリファーマシー対策～多職種連携が解決のカギ～」をテーマに安芸高田市の医療介護福祉従事者70名の方のご参加をいただき開催しました。

多剤投与に対して適正に薬を減らす為には、処方を出す医師ばかりでなくご本人・ご家族の他、その人に関わる全ての職種が、薬は効いているか別の症状が出ていないかを観察して、医師・薬剤師に繋げていく事から始まることを学びまし

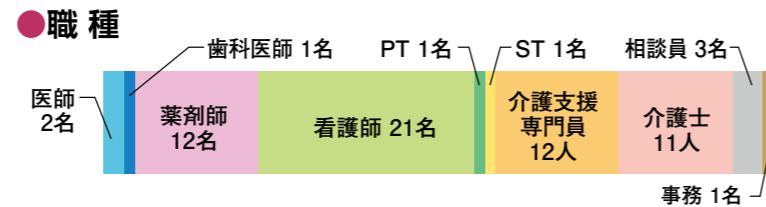
た。その後、多職種グループワークとして、症例に対して患者様のどの症状に重きを置いて害を減らす事が出来るかを話し合いました。

終了後のアンケートには「普段あまり関わることのない薬剤師さんの意見を聞いて、連携を持つことで大変助けていただける。自分の仕事をする上で頼りになる職種の方だと改めて感じることが出来た。もっと頼って助けて頂きたいと感じた」「多職種で連携をとり確実に服用が必要な薬、不要かも分からない薬などきちんと管理していけたら良いと思います」等のご意見をいただきました。



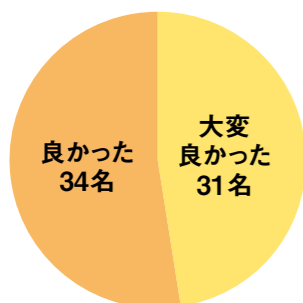
※ポリファーマシーとは…必要以上に薬を飲んでいて、薬による有害事象が起こっている状態

## 研修会アンケート結果

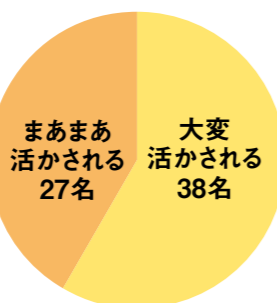
 平成29年1月17日  
[出席人数]70人 [アンケート回収]65枚


### ●研修会について思われる事

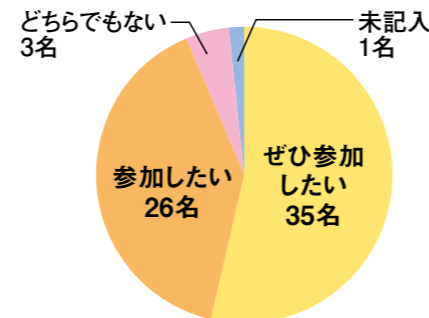
① 研修に参加して良かったですか



② 本日の内容は今後の活動や実践に活かされる内容でしたか



③ 多職種合同研修会にまた参加されたいと思われませんか



## 平成28年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

# 第2回 在宅医療・介護連携学習会

テーマ: 「経済財政一体改革と求められる地域包括ケア 深化・推進」

[日時] 平成29年2月14日(火) 18:30~20:00 [場所] JA吉田総合病院 南館4階大会議室



県立広島大学保健福祉学部 人間福祉学科 教授 金子務先生をお招きし、座長を当院の内科医師 宮田康史氏(地域医療連携室 部長)が務め開催しました。

当日は安芸高田市の医療・福祉・介護に従事されている方、75名の方にご参加いただき、今後の安芸高田市について真剣に考える時間となりました。

ご講演の中で、行政が中心となって、人の確保と活用を考えていかななくては、その地域の医療・介護・福祉を守ることが出来ない。地域で介護保険料・

サービスが異なってくることを学びました。

また、2018年(平成30年)の医療・介護保険の同時改定については、医療はその地域に必要な用途のベッド数の確保・在宅医療の推進、介護は自費部分の増加により、個人が受けることの出来るサービスの質が異なってくる事を学び、各専門職の連携を考える時間となりました。



## 第43回 院内学会開催報告

今回で43回目になる院内学会が開催され、院内外から69名の方の参加がありました

発表は以下の4演題でした。

- ① 居宅介護支援事業所の介護支援専門員として、地域に求められる役割
- ② 健診利用者確保への取り組み
- ③ 住民が地域で安心して療養するために～看護専門外来の取り組み～
- ④ マムシ咬傷クリニカルパスの作成



どの演題も、高齢化の進むこの地域の問題解決にむける取り組みや、来院される患者サービスの向上についての内容で、各分野の専門知識を活かした取り組みが詳しく説明され、よく理解できました。

普段なかなか知ることのできない他部署の活躍を知る機会になるので、次回以降の学会も、多くの方に演題発表していただきたいと思ひます。また、病院内や地域の医療関係者などが活発に意見交換できる場になるよう、さらなる発展を期待します。

